

2006 年度

科目名 法学 A	対象学科・学年 文学部日文 1 回生 文学部英米 1 回生 文学部文財 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 氏木 義明
授業テーマ 法学の必要性和法律学の基礎知識を習得させること		
授業の概要と目標 教養としての法学の必要性は、単に法的知識の習得だけではなく、法の論理的な思考と判断を意味する法的知恵（リーガル・マインド）、つまり法的なものの考え方が必要である。その意味において、法の価値・科学性を踏まえ法学の意義を講義し、初学者に法を理論的・体系的に理解させることが目標である。		
評価方法 出席・試験（レポートを含む）の総合評価		
テキスト 新・初めての法学	著者 抱 喜久雄編	出版社 法律文化社
参考書 ポケット小六法	著者	出版社 有斐閣
授業スケジュール・内容 1・法学の意義 1・法学とは、どんな学問か 2・法学は、どんな部門をもつか 2・法の本質 1・法とは、なにか 2・法の特徴はどこにあるかーその性質・構造・機能 3・法の目的は何か、その理念的価値は何か 3・法の分類 1・国際法・国内法 2・公法・私法・社会法 3・実体法・手続法 4・強行法・任意法 4・裁判制度 1・紛争と裁判 2・民事裁判と刑事裁判（民事訴訟法と刑事訴訟法を含む） 3・日本の裁判所・裁判に関わる人 4・裁判員制度の問題（平成 21 年度実施） 以上		